

シネマ歌舞伎

9/3
[日]



©松竹株式会社

Koganei
Miyajigakki
Hall

にっぽん
の
体感。



9/24
[日]

納涼

2024
1/28
[日] 新春



こがねい落語特選

特別編
神田伯山

12/8
[金]



小金井 宮地楽器ホール

古
曲
昔
々
能
の
月
子
示
曲

11/18
[土]

江戸糸あやつり人形
結城座



2024
1/20
[土]

LEO + 黒田鈴尊



「星の王子さま」との
出逢い

2024
3/9
[土]



箏

奈良時代に雅楽の楽器として中国から伝わり、楽器の進化発展とともに演奏や楽曲の幅も広がって、江戸時代初期に八橋検校(1614-85)によって奏法や曲の形式など、現在の箏曲の基礎が築かれます。さらに、京都で生田検校(1656-1715)、江戸で山田検校(1757-1817)が活躍、現代に続く二大流派の祖となるのです。明治時代になって箏が一般市民にも普及し、洋楽の影響も受けるようになると、新たな作品が生まれます。《春の海》などの名曲を遺した宮城道雄(1894-1956)は、楽器の改良や開発も精力的に行い、箏曲の近代化を推し進め、表現の幅はさらに広がりました。



能

「星の王子さま」との出会い
～能と音楽で綴る物語～

室町時代に成立した歌舞劇。奈良時代に大陸から伝わった散楽(曲芸や奇術、歌舞音曲や物まね事などの芸能)から変化発展した猿楽が源とされます。初めはお笑いのな寸劇や物まね事が主流だったようで、その性格は狂言へと受け継がれます。やがて猿楽は、寺社の儀式での芸や演劇的な芸も扱うようになり、その一座に属した観阿弥(1333-84)と世阿弥(1363?-1443?)親子は、室町幕府3代将軍・足利義満(1358-1408)の庇護のもと活躍。観阿弥は、当時流行っていた他の芸能の要素を取り入れて謡や舞を中心とする新しいスタイルを築きます。その後、世阿弥が多くの優れた台本を創り、ドラマと音楽と舞を軸とする現在の能を大成したのです。

今回、小金井薪能の創設者で、ジャンルを超えたコラボレーションにも積極的に挑む小金井市在住の能楽師・津村禮次郎と、ジャズとワールドミュージックを横断し、文学作品から着想を得た作品も手がけるサクソフォン奏者・仲野麻紀が、サン＝テグジュペリの『星の王子さま』の世界にお誘いします。「大切なものは、目に見えない」をはじめ、この作品の数々の名言は能楽のここにも通じ、時空を超えて出会う能・文学・音楽が新たなページを開きます。



奈良時代
710年～

平安時代
794年～

鎌倉時代
1185年～

室町時代
1336年～

安土桃山時代
1573年～

江戸時代
1603年～

明治時代
1868年～

LEO+黒田鈴尊

2024
1/20
(土)

尺八

箏と同様、奈良時代に雅楽の楽器として伝わり、一尺八寸(唐の寸法)の長さが基準であったことから「尺八」と名付けられました。当時の楽器は、いまでも正倉院に見ることができますが、現在の尺八は、宋の時代に禅僧・覚心(1207-98)が日本に持ち帰ったとされており、江戸時代に普化宗の虚無僧たちが修行のために吹いていたもの。明治時代になって一般にも開かれたことで、箏や三味線などとも合奏されるようになりました。

今回登場するのは、箏曲演奏家のLEOと尺八奏者の黒田鈴尊。ふたりとも、伝統を受け継ぎながら楽器の無限の可能性を追求し、現代の邦楽界に新風を巻き起こしている俊英です。古典作品から現代曲、さらにクラシック音楽まで、古今東西の名曲を箏と尺八の二重奏でお届けします。



落語

納涼
柳家さん喬 一門会

9/24
(日)

新春
昇華爛漫の会

2024
1/28
(日)

その始まりは、笑い話を得意とした僧侶で御伽衆(大名のそばに仕えて話の相手をしたり書物の講釈をした)の安楽庵策伝(1554-1642)とされています。江戸時代中期頃には、上方と江戸それぞれに有料で噺を聞かせる者たちが現れ、やがて集客して席料を取るシステムが出来て寄席となります。江戸後期、江戸に寄席は200以上あって大人気でしたが、1841年「天保の改革」による取り締まりで10分の1ほどにまで制約されました。この禁制が緩むと再び活気を取り戻し、明治時代には三遊亭圓朝が名作を多数生み出し、また扇子と手ぬぐいだけで語る話芸を極め、多くの弟子を育てて現在へと脈々と受け継がれています。

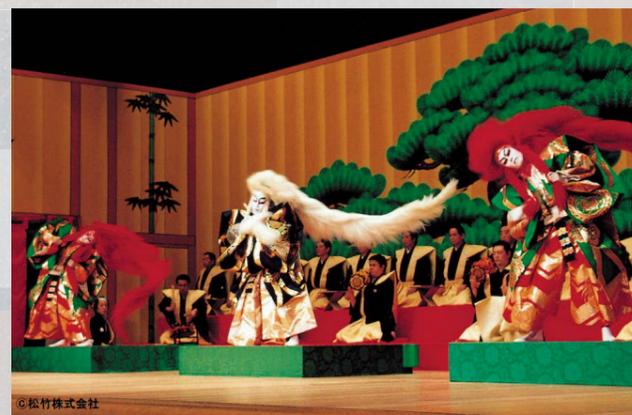


歌舞伎 シネマ歌舞伎「連獅子/らくだ」

9/3
(日)

歌舞伎の語源は「傾く」で、奇抜・異様の意。江戸時代初頭に、「傾き者」の格好や行動をまねて、出雲の阿国が男装して演じた「かぶき踊り」が流行し、やがて成人男性中心に演じられるようになって歌舞伎の礎となります。江戸時代中期になると花形役者が現れて芸の型が確立されていき、花道や廻り舞台など舞台機構の開発によって演出の幅も広がりました。そして人形浄瑠璃や講談、落語など、時代ごとのブームや趣味嗜好をいち早く取り込むことで最先端のエンターテインメントとして発展したのです。

今回お届けするのは、迫力のスクリーンとサウンドで歌舞伎を気軽に楽しめる「シネマ歌舞伎」。「連獅子」は、能の『石橋』を題材にした舞踊劇で、紅白の獅子の豪快な毛振りが特徴的な歌舞伎を代表する演目のひとつ。今回上映されるのは、十八世 中村勘三郎・勘九郎・七之助親子による熱演を、山田洋次監督が映像化した作品です。「らくだ」は、フグの毒に当たって頓死した男の弔いをめぐるハチャメチャな物語で、古典落語を歌舞伎化したもの。十八世 中村勘三郎と十世 坂東三津五郎による抱腹絶倒の名舞台が蘇ります。



講談 神田伯山

12/8
(金)

釈台という小さな机を前に座り、張り扇でこれを打ちながらテンポよく読み聞かせる話芸。『太平記』などの軍記物に注釈と調子を付けて読んでいた江戸時代の大道芸「辻講釈」が今日の講談の原型とされています。講釈と呼ばれて人気を得、好評演目は歌舞伎や人形浄瑠璃の題材になることもあり。識字率が低く、情報もなかなか入らない時代、歴史物語や話題のニュースをわかりやすく面白く聞ける講釈は、庶民にとって娯楽であり教養でしたが、天保の改革によって講釈場も縮小されます。明治時代になると講談と呼ばれ、時事ネタなども扱われるようになり、さらに人々の身近なものになりました。昭和に入ると人気は次第に衰えますが、人間国宝の一龍斎貞水、神田松鯉などの名人が講談界を支え、最近では六代目 神田伯山の活躍で再び人気に火がつき、注目が集まっています。

江戸糸あやつり人形 結城座

11/18
(土)

江戸時代から続くあやつり人形による芝居。人形劇も散楽のひとつとして伝わり(能の項目参照)、傀儡師が胸に箱を吊ってその上で人形を舞わせたのが最初と言われ、糸であやつるマリオンネットタイプと、直接人形を遣うパペットタイプ(人形浄瑠璃や文楽)へと分かれて発展しました。

小金井に本拠を置く結城座は、江戸時代からの伝統を継承する唯一の人形劇団です。1635年に初代 結城孫三郎が、江戸の豊屋町(現在の人形町近辺)に旗揚げして以来、380年以上の歴史を持ちます。もともと説経節(仏教の教えを物語りにして語る)をベースにしていたのが、江戸時代中期頃の浄瑠璃ブームに伴い、義太夫節を取り入れて新しい作品を生み出していきました。その矢先、天保の改革により現在の浅草近辺に強制移転させられるもその勢いは失わず、「写し絵」(ガラス板に絵を描いて投射する、幻灯(スライドの元祖)を応用したもの。九代目 孫三郎の父、両川亭船遊は写し絵師としても才覚を発揮)がヒット。明治維新の頃には存続の危機にも瀕しますが、九代目 孫三郎が人形の改良を重ね、人形遣いが台詞も語るスタイルを築いて復興を遂げ、現在までその技が継承されています。



明治時代
1868年～

令和の今こそ、
古典芸能 コトハジメ。

今年度の小金井宮地楽器ホールでは、日本の古典芸能に焦点を当て、七つの公演を皆様にお届けします。興味はあるけれど何から手をつければ良いの? そんな内なる心のお声にお応えして、古来伝わる芸能の発祥やその魅力について、知ると嬉しい豆知識をご紹介します。さあ、和の世界への扉を開いてみませんか?

古典芸能の目録

こころの体感。

こがねい落語特選

納涼 柳家さん喬 一門会

2023年9月24日(日)14:00開演 大ホール
当代随一の人気を誇る柳家一門会が、夏のこがねい落語特選を席巻します! 高座はもちろん、師弟愛溢れるトークも必聴。

出演 柳家さん喬、柳家喬太郎、柳家喬之助

料金 一般3,500円 U25席2,000円
こがねいメンバーズ 一般3,200円

チケット発売日 ●こがねいメンバーズ先行 5月21日(日)
●市内先行抽選: 5/22(月)
(5月15日~19日必着 ※往復ハガキ)
●一般発売 5月28日(日)

新春 昇華爛漫の会

2024年1月28日(日)13:00開演 大ホール
意気盛んな顔付けが相まみえる、新春のことはじめ。ベテランからホットな真打ちまで、世代も流派も越えて笑いの華が咲き乱れます。

出演 柳亭市馬、古今亭文菊、柳家わさび、立川小春志(こはる改メ)

料金 一般3,500円 U25席2,000円
こがねいメンバーズ 一般3,200円

チケット発売日 ●こがねいメンバーズ先行 9月9日(土)
●市内先行抽選: 9/11(月)
(9月1日~8日必着 ※往復ハガキ)
●一般発売 9月16日(土)

特別編 神田伯山 独演会

2023年12月8日(金)18:30開演
大ホール

張り扇で釈台をパバパン!と小気味よくリズムを刻み、聴く人を引き込む「講談」。じわじわ高まっていく講談人気の立役者の一人、神田伯山が魅せる話芸の極みを、ぜひご体感ください。

出演 神田伯山

料金 一般3,800円 U25席2,000円
こがねいメンバーズ 一般3,500円
※チケット購入はお一人2枚まで

チケット発売日 ●こがねいメンバーズ先行 8月12日(土)
●市内先行抽選: 8/14(月)
(8月1日~10日必着 ※往復ハガキ)
●一般発売 8月19日(土)

シネマ歌舞伎「連獅子/らくだ」

2023年9月3日(日)14:00開演 大ホール
スクリーンならではの美と迫力が魅力の「シネマ歌舞伎」。十八世中村勘三郎親子による『連獅子』と、歌舞伎座を笑いの渦に巻き込んだ古典落語の傑作『らくだ』の2本立てでお楽しみください!

演目・出演

『連獅子』監督: 山田洋次

中村勘三郎、中村勘九郎、中村七之助、片岡亀蔵、坂東彌十郎
2007年10月上演/新橋演舞場(55分)

『らくだ』中村勘三郎、坂東彌十郎、片岡亀蔵、尾上松也、片岡市蔵、坂東三津五郎
2008年8月上演/歌舞伎座(52分)

料金 一般2,200円 学生1,500円
こがねいメンバーズ 一般2,000円

チケット発売日 ●こがねいメンバーズ先行 5月21日(日)
●市内先行抽選: 5/22(月)
(5月15日~19日必着 ※往復ハガキ)
●一般発売 5月28日(日)

江戸糸あやつり人形 結城座

2023年11月18日(土)14:00開演
小ホール

小金井市に拠点を構え、「国記録選択無形民俗文化財」「東京都無形文化財」に指定されている、江戸糸あやつり人形劇団「結城座」。子どもから大人まで楽しめる演目のほか、江戸糸あやつり人形の魅力や解説をお聞かせします。

出演 江戸糸あやつり人形 結城座

予定演目 東海道中膝栗毛
~赤坂並木から卵塔場まで~

料金 一般3,500円 U25席2,000円
こがねいメンバーズ 一般3,000円

チケット発売日 ●こがねいメンバーズ先行 7月8日(土)
●市内先行抽選: 7/10(月)
(7月1日~7日必着 ※往復ハガキ)
●一般発売 7月15日(土)

LEO+黒田鈴尊

2024年1月20日(土)14:00開演
大ホール

伝統と革新を両立する箏曲と尺八界のホープによるコンサート。古典からクラシックまで、人気と実力を兼ね備えた二人が、温故知新の世界をお届けします。

出演 LEO(箏)、黒田鈴尊(尺八)

予定曲目 宮城道雄: 春の海
神保政之輔: 奥州薩慈
半田弘: さくら替手五段
吉松隆: 双魚譜 ほか

料金 一般3,500円 U25席2,000円
こがねいメンバーズ 一般3,200円

チケット発売日 ●こがねいメンバーズ先行 9月9日(土)
●市内先行抽選: 9/11(月)
(9月1日~8日必着 ※往復ハガキ)
●一般発売 9月16日(土)

「星の王子さま」との出会い ~能と音楽で綴る物語~

2024年3月9日(土)16:00開演 大ホール
時代を超えて愛されてきた、フランス文学の金字塔「星の王子さま」。日本の伝統文化の宝刀、能と出会い、サクスの音色とともに新たな1ページを開きます。

出演 津村禮次郎(能楽師 親世流シテ方)、仲野麻紀(サクス) ほか

料金 一般5,000円 U25席3,000円
こがねいメンバーズ 一般4,500円

チケット発売日 ●こがねいメンバーズ先行 11月11日(土)
●市内先行抽選: 11/13(月)
(11月1日~10日必着 ※往復ハガキ)
●一般発売 11月19日(日)

コチラも! ようこそ! 古典芸能の世界へ

ちょこっと落語体験会

2023年7月23日(日)11:00/14:00開講
市民ギャラリー

出来そうで出来ない、落語の仕草。ちょとしたコツを学びつつ、楽しく落語の世界に親子で触れられる落語の入門編です。

出演 春風亭かけ橋 ほか

料金 一般1,000円
子ども(3歳~小学生) 500円
※こがねいメンバーズ優待価格対象外

定員 各回30名
応募抽選 インターネット、往復はがき
応募受付 6月1日(木)~6月21日(水)

触れてみよう 能の世界 ~今こそ学ぶ古典芸能~

2024年2月3日(土)14:00開講 小ホール
能楽師自らが能楽を読み解き実演を交えた講演で能楽に親しみます。「観る」から「識る」「触れる」に踏み進みましょう!

出演 松山隆之(能楽師)、川口晃平(能楽師) ほか

予定演目 能のお話、装束付け実演、一部簡略上演(予定)

料金 一般1,500円 U25席1,000円
こがねいメンバーズ 一般1,000円

チケット発売日 ●こがねいメンバーズ先行 10月7日(土)
●市内先行抽選: 10/9(月・祝)
(10月1日~6日必着 ※往復ハガキ)
●一般発売 10月14日(土)

限定特典

対象の7公演で、
選べる特典を抽選でプレゼント!

例えばこんな特典をご用意!

友の会年会費無料
(各公演1名様、新規のみ対象)

主催公演で使えるカフェチケット
(一部公演を除く)

出演者サイン色紙
(一部公演のみ)

和イラストの
リングノート/ステッカー

※特典は公演により異なります。
詳細は当館HPにてご確認ください。

お問合せ・お申込み

小金井 宮地楽器ホール

〒184-0004 東京都小金井市本町6-14-45

☎042-380-8099 (10:00~19:00)

休館日: 第2・3火曜日(祝日の場合はその直後の平日)、
年末年始(12/29~1/3)、保守点検日

ホームページ
<https://koganei-civic-center.jp>



Twitter
@koganei_civic



交通のご案内
■電車 JR中央線「武蔵小金井駅」南口駅前
■バス 小田急バス、関東バス、西武バス、京王バス「武蔵小金井駅」下車徒歩1分

新型コロナウイルスの感染状況などによって、内容に変更が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。なお、ご来場のお客様にも、マスクの着用や手指消毒など、感染予防および感染拡大防止にご理解・ご協力をお願いいたします。

小金井 宮地楽器ホール

☎042-380-8077 9:00~22:00
第2・3火曜日、年末年始(12/29~1/3) 休館

- こがねいメンバーズチケット・U25席・車椅子席・介助席は、当館チケットデスク(窓口・電話)・インターネットチケットサービスのみの取り扱い。
- U25席・学生席(公演当日25歳以下対象)をご購入の方は、公演当日に年齢のわかる身分証明書を必ずお持ちください(要提示)。
- 公演内容は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 年齢表記がない公演は、未就学のお子様は入場いただけません。
- 表示価格はすべて税込みです。